

若狭の歴史と民俗



若狭町脇袋古墳群（国指定史跡）

若狭は大陸文化の玄関口であり、また古代においては畿内（京都、奈良、大阪）との関係が強くありました。よって若狭には、有形無形の歴史遺産が現在もたくさん残されています。

その歴史を皆さんと共に尋ねてみたいと思います。

令和7年 12月1日【月】

時間

14:00～15:00

（講座終了後、質問の時間を10分ほど設けます）

場所

里山文化交流センター（ぶらっと）活動室

対象者

一般

参加費

無料

申込

名田庄図書館カウンターまたはお電話にて

申込締切

令和7年11月26日(水)

講師

ながえ ひさお

永江寿夫氏

若州一滴文庫 館長

1959年 若狭町生まれ。天龍寺金剛院、大徳寺本坊に寄寓。1987年から町の文化財保護行政に携わり、若狭三方縄文博物館長、若狭町歴史文化館長を歴任。本年4月から現職。単著『町並みの保存と創造』や共著『観光まちづくり』、『文化遺産と現代』ほか。